

一般社団法人貝合貝覆文化協会定款

第1章 総則

(名称)

第1条 当法人は、一般社団法人貝合貝覆文化協会と称する。

(主たる事務所)

第2条 当法人は、主たる事務所を京都市に置く。

(目的)

第3条 当法人は、文化及び芸術の振興を目的とし、その目的に資するため、次の事業を行う。

1. 貝合貝覆文化に関する知識の啓発と普及
2. 貝合貝覆遊戯その他、展示会、講演会、各種催事の企画、制作、実施に関する事業
3. 貝合貝覆に関わる調査、研究及び講演、研修、セミナーの開催
4. 装束、着物等に関するコーディネート及びプロデュース
5. 装束、着物等のレンタル事業
6. 貝合貝覆に関わる資格制度の教育と資格認定試験の実施
7. 貝合貝覆文化に関する書籍の出版
8. 書画、彫刻、工芸品等美術品に関する販売及び古物商
9. 前各号に附帯関連する一切の事業

(公告の方法)

第4条 当法人の公告は、当法人の主たる事務所の公衆の見やすい場所に掲示する方法により行う。

第2章 社員

第5条 当法人の目的に賛同し、入社した者を社員とする。

2. 社員となるには、当法人所定の様式による申込みをし、代表理事の承認を得るものとする。

3. この法人の社員は、次の4種の会員とする。

- (1) 正会員 : この法人の目的に賛同して入会した個人
- (2) 学生会員 : この法人の目的に賛同して入会した学生
- (3) 賛助会員 : この法人の目的に賛同して入会し、この法人が行う事業活動を支援する企業及び団体並びに個人

(4) 特別会員：この法人の目的に賛同して入会し、この法人が行う事業活動を支援する企業及び個人であって、特別な理由により会費の支払いを免除される者

(経費等の負担)

第6条 社員は、当法人の目的を達成するため、それに必要な経費を支払う義務を負う。

2. 社員は、社員総会において別に定める入会金及び会費を納入しなければならない。但し、特別会員については、必要な経費を支払いすることを免除する。

(退社)

第7条 社員は、いつでも退社することができる。ただし、1か月以上前に当法人に対して予告をするものとする。

(除名)

第8条 当法人の社員が、当法人の名誉を毀損し、若しくは当法人の目的に反する行為をし、又は社員としての義務に違反するなど除名すべき正当な事由があるときは、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下「一般法人法」という。）第49条第2項に定める社員総会の決議によりその社員を除名することができる。

(社員の資格喪失)

第9条 社員が次の各号のいずれかに該当する場合には、その資格を喪失する。

1. 退社したとき
2. 死亡し、若しくは失踪宣告を受け、又は解散したとき
3. 3年以上会費を滞納したとき
4. 除名されたとき
5. 総社員の同意があったとき

第3章 社員総会

(開催)

第10条 定時社員総会は、毎年9月に開催し、臨時社員総会は、必要がある場合に開催する。

(招集)

第11条 社員総会は、理事の過半数の決定に基づき代表理事が招集する。

2. 社員総会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面又は電磁的方法をもって、会日より1週間前までに社員に対して発する。

(決議の方法)

第12条 社員総会の決議は、法令に別段の定めがある場合を除き、総社員の議決権の過半数を有する社員が出席し、出席した当該社員の議決権の過半数をもって行う。

(議決権)

第13条 社員は、各1個の議決権を有する。

(議長)

第14条 社員総会の議長は、代表理事がこれに当たる。代表理事に事故があるときは、当該社員総会において議長を選出する。

(議事録)

第15条 社員総会の議事については、法令の定めるところにより議事録を作成し、議長及び出席した理事がこれに署名又は記名押印する。

第4章 役員

(役員)

第16条 当法人に、次の役員を置く。

1. 理事2名以上5名以内
2. 理事のうち1名を代表理事とする。

(選任)

第17条 理事は、社員総会の決議によって社員の中から選任する。ただし、必要があるときは、社員以外の者から選任することを妨げない。

2. 代表理事は、社員総会によって定める。

(任期)

第18条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとする。

2. 任期の満了前に退任した理事の補欠として選任された理事の任期は、前任者の任期の残存期間と同一とする。

(理事の職務及び権限)

第19条 理事は、法令及びこの定款の定めるところにより、その職務を執行する。

2. 代表理事は、当法人を代表し、その業務を統括する。

(解任)

第20条 理事は、社員総会の決議によって解任することができる。

(報酬等)

第21条 理事の報酬、賞与その他の職務執行の対価として当法人から受ける財産上の利益は、社員総会の決議によって定める。

第5章 計算

(事業年度)

第22条 当法人の事業年度は、毎年7月1日から翌年6月30日までの年1期とする。

(事業計画及び収支予算)

第23条 当法人の事業計画及び収支予算については、毎事業年度開始日の前日までに代表理事が作成し、直近の社員総会において承認を受けるものとする。これを変更する場合も、同様とする。

第6章 附則

(最初の事業年度)

第24条 当法人の最初の事業年度は、当法人成立の日から令和7年6月30日までとする。

(設立時の役員)

第25条 当法人の設立時理事、設立時代表理事は、次のとおりとする。

設立時理事 佐藤朋子 設立時代表理事 佐藤朋子

設立時理事 佐藤潤

(設立時社員の氏名及び住所)

第26条 設立時社員の氏名及び住所は、次のとおりである。

住 所 京都市北区小山西玄以町18番地1

設立時社員 佐藤朋子

住 所 京都市北区小山西玄以町18番地1

設立時社員 佐藤潤

(法令の準拠)

第27条 本定款に定めのない事項は、すべて一般法人法その他の法令に従う。

以上、一般社団法人貝合貝覆文化協会設立のため、設立時社員佐藤朋子ほか1名を代理して、司法書士福田匠治郎がこの定款を作成し、これに電子署名する。

令和6年6月12日

設立時社員 佐藤朋子

設立時社員 佐藤潤

上記代理人 司法書士 福田匠治郎